

喜斎門

喜斎門は姫路城の後方に位置する門である。天守を囲むらせん状の堀が最初の旋回を終え、次の旋回を始めるこの場所にある。近くには、藩の年貢と家臣の禄を納めるための米を保管する二つの蔵があった。この蔵の近くにある喜斎門があったため、姫路藩に使える侍はこの門を使って米や約束手形、またはその両方で支給される俸給を受け取っていた。また、城の守護神を祀る長壁神社への参拝の際には、住民が喜斎門を利用していた。